

KENWOOD

カセットレシーバー

RX-270

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪府都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

© B64-1542-00 (JW)

CONTENTS

| | |
|---|----|
| 安全上のご注意 | |
| この取扱説明書の読み方 | 4 |
| 安全上のご注意 | 5 |
| 使用上のご注意 | 8 |
| 操作のしかた | |
| ALL MODE | |
| パワーオン、パワーオフ、ボリューム、アッテネーター、 モードチェンジ、ラウドネス | 10 |
| オーディオコントロール、時計表示、時計調整 | 12 |
| トラフィックインフォメーション、 トラフィックインフォメーションボリューム | 14 |
| TAPE MODE | |
| テーププレイ、リバースプレイ、イジェクト、 早送り/巻戻し、チューナーコール | 16 |
| TUNER MODE | |
| チューニング、マニュアルメモリー、オートメモリー | 18 |
| 取り付け上のご注意 | 20 |
| 接続・取り付けのしかた | 22 |
| 故障かな?と思ったら | 24 |
| 保証とアフターサービス | 25 |
| 仕様一覧 | 26 |

ALL MODE
TAPE MODE
TUNER MODE

RX COMPONENT SOUND SYSTEM RX-270

この取扱説明書の読み方

● 機能の名称が書いてあります。

パワーオン

電源を入れる



SRCボタンを押す。

MEMO ▶

すべての操作は電源オン中に行ってください。

● 機能の簡単な説明が書いてあります。

● 操作に関する補足説明が書いてあります。



ボタンを押し、すぐに手を離します。



ボタンを1秒以上、または2秒以上押し続けます。

MEMO ▶ 本取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表示は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはあり得ない表示パターンが記載されていることがあります。

ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



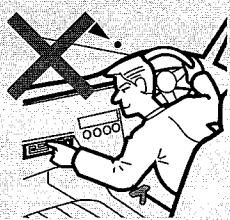
実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

警告



! 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

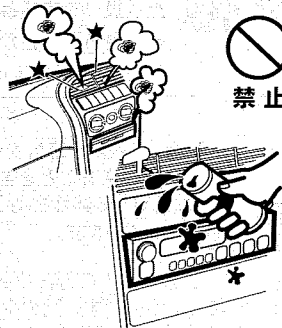
実施

- 音量調節などのカーオーディオの操作



! 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。

実施



! 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

禁止

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

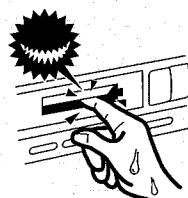
! 修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

実施

! 製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

禁止

注意



禁止

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。けがをすることがあります。



実施

液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼす恐れがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹼で洗い落としてください。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

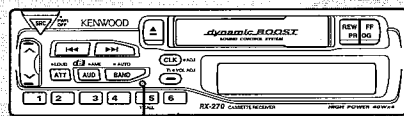
使用上のご注意

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。



リセットボタン

セットのお手入れについて

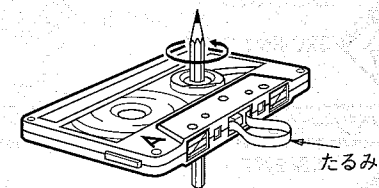
本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のもののでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

ヘッドクリーニングについて

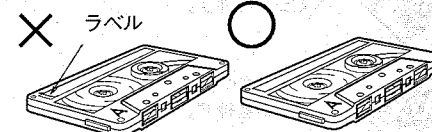
本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

テープの取扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないで下さい。

ALL MODE 共通機能

ALL MODE

パワーオン

電源を入れる

C SRCボタンを押す。

パワーオフ

電源を切る

C PWR OFFボタンを1秒以上押す。

ボリューム

音量を調整する

A ▶ 音量を大きくする
へボタンを押す。

A ▶ 音量を小さくする
∨ボタンを押す。

アッテネーター

音量をすばやく小さくする

B ATTボタンを押す。
アッテネーターがON中はATTインジケータ
ーが点滅します。

B ▶ 元の音量に戻す
ATTボタンを押す、またはへボタン
を押す。

A

MEMO ▶ 音量を“00”すると、アッテネーターは
解除されます。

モードチェンジ

聴くメディアを切り替える

C SRCボタンを押す。
押すたびにモードが以下のように切り
替わります。

- TUNE : FM/AM放送を聴くモード
(TUNER MODE)
- ▼
- TAPE : TAPE演奏を聴くモード
(TAPE MODE)
- ▼
- OFF : 電源がONのまま各機能が
一時停止します。
(ALL OFF MODE)

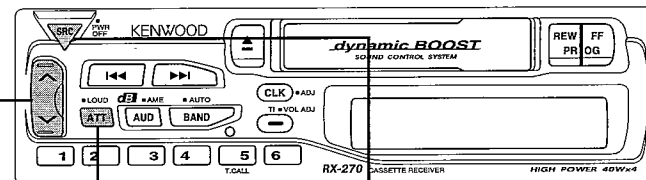
ラウドネス

低音/高音を補正してメリハリのある音質
にする

B LOUDボタンを1秒以上押す。
ラウドネスがONになるとLOUDインジ
ケータが点灯します。

B ▶ 元の音質に戻す
LOUDボタンを1秒以上押す。

MEMO ▶ チューナーの音声は低音のみの補正にな
ります。



B ATTボタン

C SRCボタン

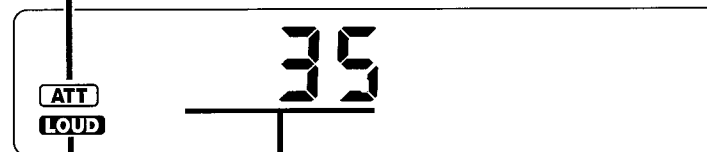
B LOUDボタン

C PWR OFFボタン

A ∨/へボタン

ALL MODE

ATTインジケータ



モード表示/音量表示

LOUDインジケータ

ALL MODE 共通機能

オーディオコントロール

音質や音量バランスを調整する



1. AUDボタンを押す。
オーディオコントロールモードになります。



2. BANDボタンを押す。
押すたびに調整できるモードが以下のように切り替わります。

dB : ダイナミックブースト
▼ 選択モード

BAS : 低音調整モード
▼ (調整範囲: -8~+8)

TRE : 高音調整モード
▼ (調整範囲: -8~+8)

BL : 左右音量バランス調整モード
▼ (調整範囲: L[左]15~R[右]15)

FD : 前後音量バランス調整モード
(調整範囲: R[後]15~F[前]15)



▶ ダイナミック・ブーストを選択する
メモリーボタンの1~5を押す。
押すボタンによりあらかじめメモリー
されているジャンル別の音質が呼び
出されます。
メモリーボタン1: フラット
メモリーボタン2: ロック
メモリーボタン3: ポップス
メモリーボタン4: ジャズ
メモリーボタン5: イージー



▶ 低音/高音の調整、左右/前後バ
ランスの調整をする
◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押す。
それぞれのモードを調整できます。



▶ オーディオコントロールを解除する
AUDボタンを押す。

MEMO ▶ ダイナミックブーストや低音/高音の設定
は、カセットテープ、FM放送、および
AM放送を聴いているとき、それぞれの
モードごとにメモリーします。

時計表示

時刻を表示する



CLKボタンを押す。
押すたびに、現在のモードの表示と時
計表示とが切り替わります。
時計表示時は ◯ インジケーターが点
灯します。

MEMO ▶ パワーオフ中は時計表示はしません。

時計調整

時刻を調整する



1. 時計表示にする。



2. CLKボタンを2秒以上押す。
時計調整モードになり、時計表示
が点滅します。



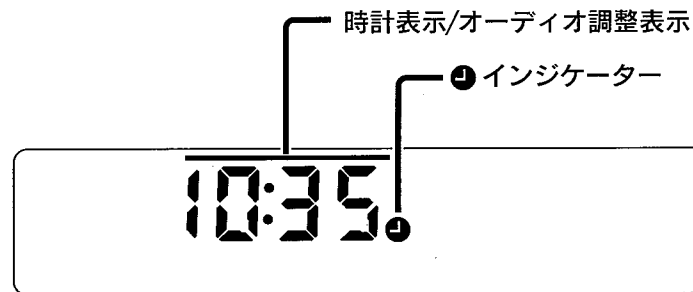
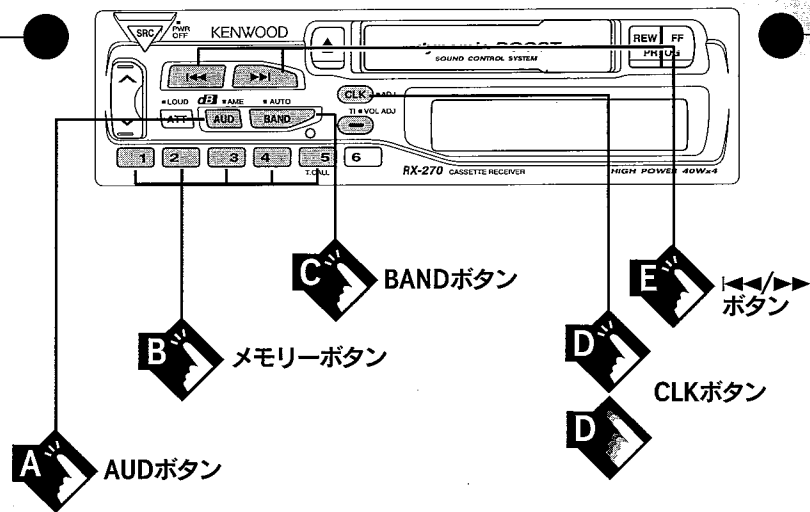
▶ 時を調整する
BANDボタンを押す。
押すたびに時が進みます。



▶ 分を調整する
◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押す。
▶▶ボタンを押すたびに分が進み、
◀◀ボタンを押すたびに分が戻ります。



3. CLKボタンを押す。
時計調整モードが終了します。



ALL MODE 共通機能

トラフィックインフォメーション

交通情報を聞く

- B** TIボタンを押す。
交通情報局を受信します。
トラフィックインフォメーションがON
のときは、インジケータが点灯しま
す。

▶ 周波数を変更する

- ◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押す。
1620kHz、1629kHz、522kHzの周波
数が選択できます。

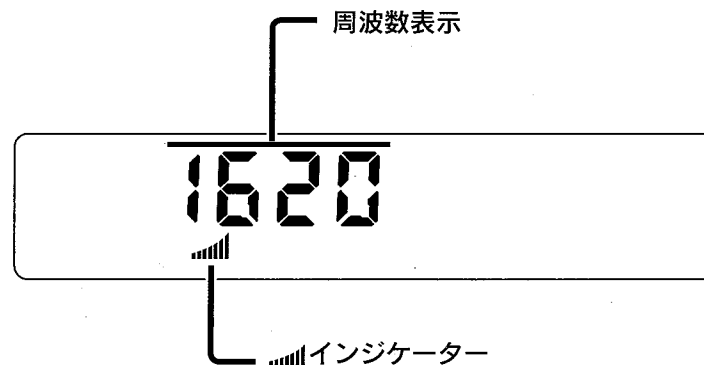
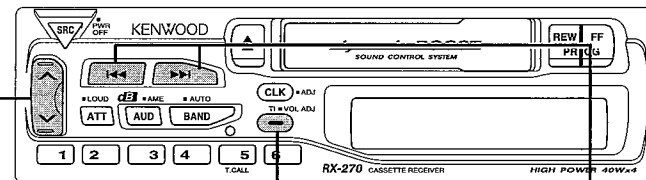
▶ 解除する

- B** TIボタンを押す。

トラフィックインフォメーションボリューム

交通情報受信中の音量を設定する

- A** トラフィックインフォメーションを
ONにして、設定したい音量にする。
- B** VOL ADJボタンを2秒以上押す。
設定されると音量表示が1回点滅
します。
次回からトラフィックインフォメ
ーションモードにすると、自動的に、
この設定した音量になります。



周波数表示

インジケータ

TAPE MODE

TAPE MODE

テーププレイ

カセットテープを聴く

- ▶ カセットテープが入っていないときカセットをテープが見える方を右側にしてカセット挿入口に入れる。テーププレイが始まらないときは、テープを一度エジェクトして、再度カセット挿入口に入れてください。

- ▶ カセットテープが入っているときSRCボタンを“TAPE”と表示されるまで押す

MEMO ▶ ●テープが本機に入っている場合は、走行インジケータが同時に点灯します。
●再生中は走行インジケータで再生面を表示します。
例)カセットのA面を上にして入れたとき。
▶点灯：A面を再生中です。
◀点灯：B面を再生中です。

リバースプレイ

カセットテープの反対面を聴く

- ▶ FFボタンとREWボタンを同時に押す。
- ▶ 押すたびにテープのA面とB面が切り替わります。

イジェクト

カセットテープを取り出す

- ▶ △ボタンを押す。

MEMO ▶ 長時間テープを再生しないときは、カセットテープを取り出してください。

早送り/巻戻し

- ▶ 早送り
FFボタンを押す。
- ▶ 早送りを解除する
REWボタンを押す。
- ▶ 巻戻し
REWボタンを押す。
- ▶ 巻戻しを解除する
FFボタンを押す。

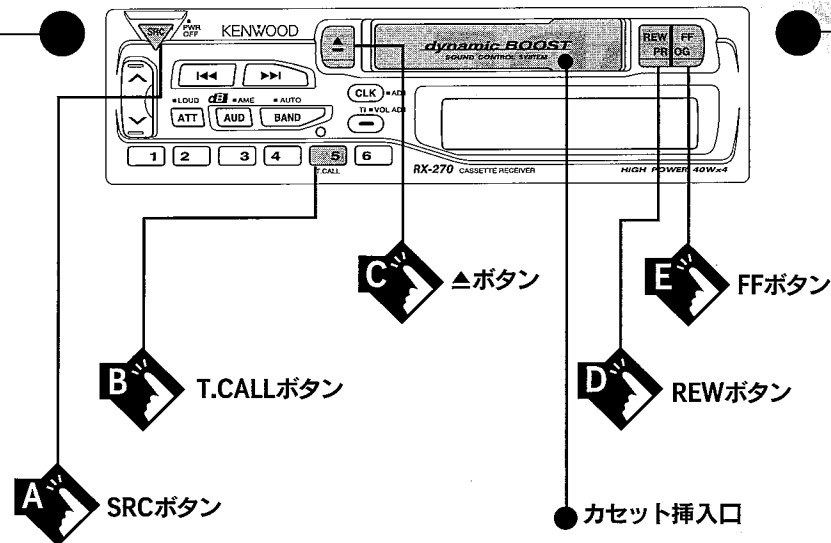
MEMO ▶ 早送り/巻戻し中は両方の走行インジケータが同時に点滅します。

チューナーコール

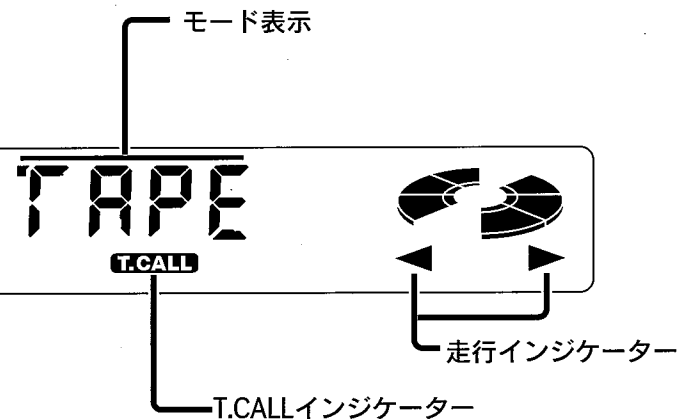
早送り・巻戻し中にラジオを聴く

- ▶ T.CALLボタンを押す。
押すたびにチューナーコールがON/OFFします。
チューナーコールがONのときには、T.CALLインジケータが点灯します。

MEMO ▶ チューナーコールをONにすると、オートアンテナ車ではアンテナが伸びた状態になります。車庫入れのときなどにアンテナを収納したいときは、チューナーコールをOFFにしてください。



TAPE MODE



TUNER MODE

チューニング

ラジオを聴く

A ▶ チューナーに切り替える
SRCボタンを“TUNE”と表示されるまで押す。

C ▶ バンドを切り替える
BANDボタンを押す。
BANDボタンを押すたびにFMIバンド→FMIIバンド→FMIIIバンド→AMバンドと切り替わります。バンドインジケータに受信しているバンドが表示されます。

C ▶ チューニング方法を切り替える
AUTOボタンを1秒以上押す。
AUTOボタンを1秒以上押すたびにチューニングモードがオートとマニュアルとに切り替わります。オートチューニングモード中は、AUTOインジケータが点灯します。

E ▶ 放送局を替える
◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押す。
オートチューニングモード時に◀◀ボタンを押すと低い周波数の放送局を探し、▶▶ボタンを押すと高い周波数の放送局を探します。
マニュアルチューニングモード時に◀◀ボタンを押すと周波数が1ステップ下がり、▶▶ボタンを押すと周波数が1ステップ上がります。
FMステレオ放送を受信するとSTEREOインジケータが点灯します。

マニュアルメモリー

放送局をメモリーする

B ▶ 周波数をメモリーする
メモリーボタン1~6のいずれかを2秒以上押す。
受信中の放送局がメモリーされます。メモリーが完了すると押しているメモリーナンバーが1回減じます。
AM、FMI、FMII、およびFMIIIの各バンドで、1つのメモリーボタンに1つの周波数がメモリーできます。

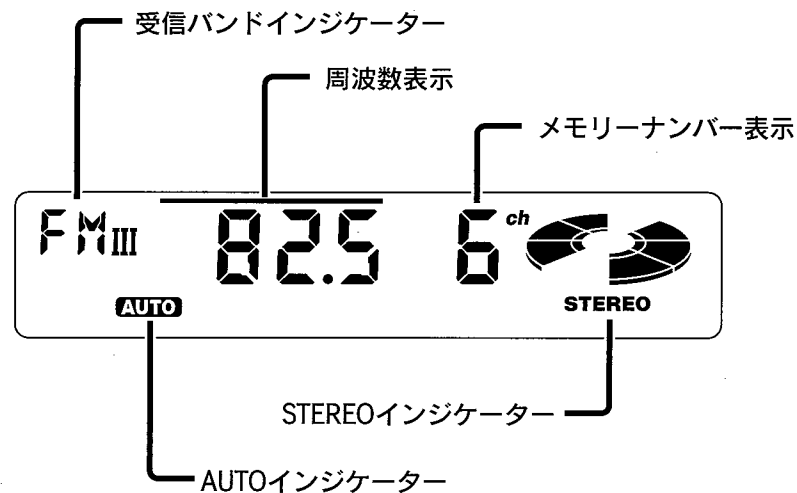
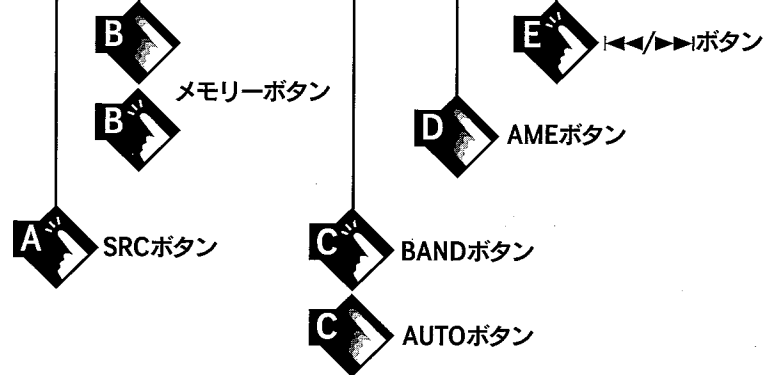
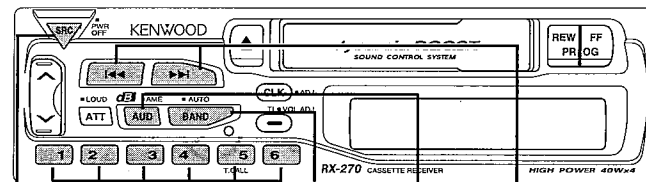
B ▶ メモリーした放送局を呼び出す
メモリーボタン1~6のいずれかを押す。
押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

オートメモリー

放送局を自動的に探してメモリーする

D ▶ オートメモリーを開始する
AMEボタンを2秒以上押す。
オートメモリーが始まり、次々に放送局を6局メモリーします。6局メモリーするか受信可能なすべての放送局をメモリーするとオートメモリーは終了します。

B ▶ メモリーされた放送局を呼び出す
メモリーボタン1~6のいずれかを押す。
押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。



取り付け上のご注意

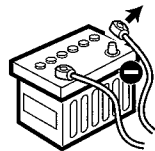
警告



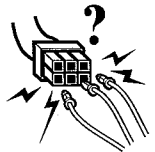
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



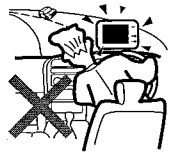
本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故や怪我の原因となります。



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



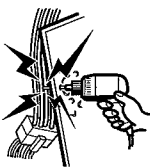
車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウinker、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



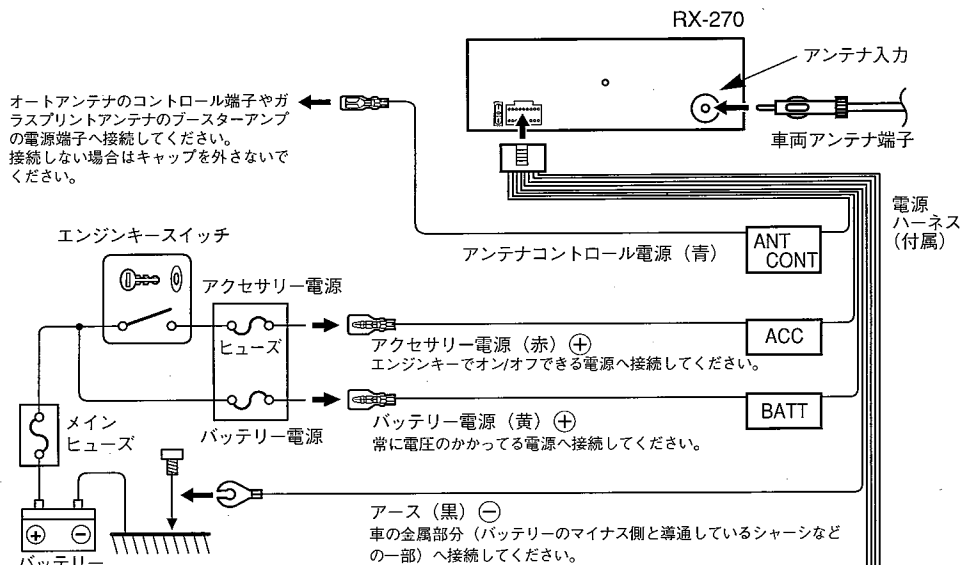
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続・取り付けのしかた

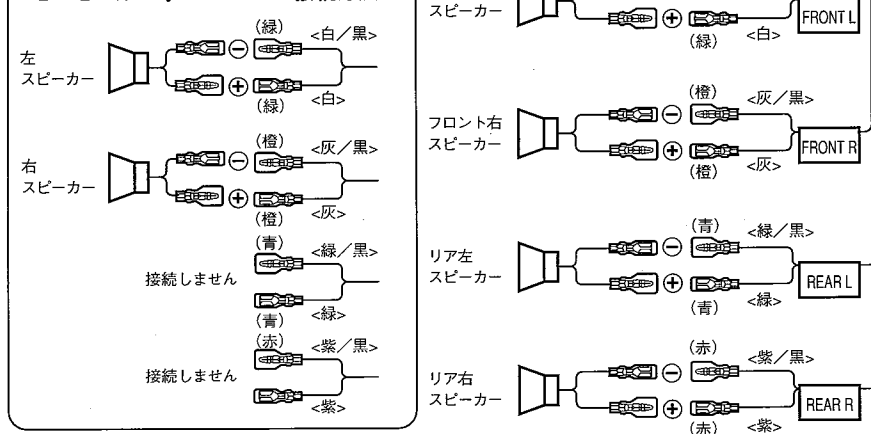
●接続

取り付け手順

1. エンジンキーを抜き、バッテリーの○端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスのアースコード(黒), バッテリー電源コード(黄), アクセサリー電源コード(赤)を順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをRX-270に接続します。
6. 取付終了後に、バッテリーの○端子を接続します。
7. リセットボタンを押します。(P.8)



2スピーカー時のスピーカー接続方法



●本機の取り付け

付属のネジ (M5×6 mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



注意

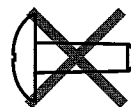
取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属の取付ネジ



その他のネジ

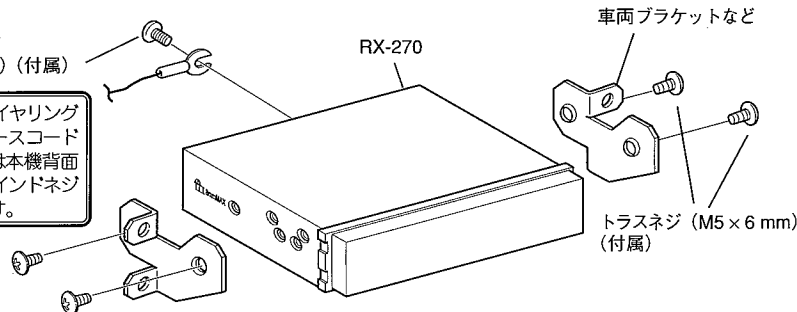


付属ネジ一覧

| | | |
|--|------------------------|---|
| | トラスネジ (M5×6 mm) | 4 |
| | バインドネジ (M4×6 mm) | 1 |

バインドネジ (M4×6 mm) (付属)

別売品のワイヤリングキットにある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。



別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

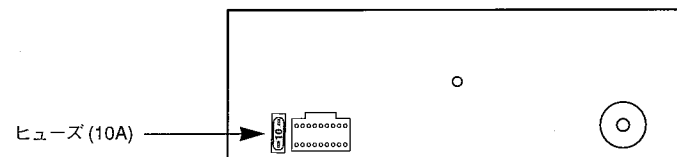
●ヒューズ交換のしかた



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

セット背面



故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスなどにより、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

| こんなとき | どうして | こうします |
|----------------------|--|--|
| 音が出ない/小さい | <ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがオンになっている。 ヒューズが切れている。 | <ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> フェダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。 入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。 本機にカセットテープが正しく セットされていない。 カセットテープの不良。 | <ul style="list-style-type: none"> コード類がショートしていないことを確 認後、所定容量のヒューズと交換して ください。 フェダー、バランスを調整してください。 "接続・取り付けのしかた"を見て正しく 接続してください。(⇒P.22) ▲ボタンを押して、再度カセットテープ を入れ直してください。 他のカセットテープを使用してください。 |
| 音質が悪い(音が歪む) | <ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 ヘッドが汚れている。 | <ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 "ヘッドクリーニングについて"を見てヘッ ドクリーニングを行ってください。 (⇒P.9) スピーカー配線をチェックしてください。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> スピーカーコードが車両側のネ ジにかみ込んでいる。 スピーカー配線が間違ってい る。 | <ul style="list-style-type: none"> スピーカー出力端子をそれぞれのスピー カー端子に接続してください。 |
| テープが入らない | <ul style="list-style-type: none"> カセットハーフが変形している。 テープが逆向きになっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 他のカセットテープを使用してください。 テープが見える面を右にして入れてくだ さい。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> カセット機構がすでに再生状態 になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ▲ボタンを押してから、カセットテープ を入れ直してください。 |
| チューナーの感度が悪い | <ul style="list-style-type: none"> 車両のアンテナが伸びていない。 アンテナコントロール電源が接 続されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 "接続・取り付けのしかた"をみてアンテ ナコントロール電源を接続してくださ い。(⇒P.22) |
| テープモード中にアンテナが 伸びる | チューナーコールがオンになって いる。 | チューナーコールをオフにしてください。 (⇒P.16) |

保証とアフターサービス よくお読みください

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から
受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品
の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所
にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上
げの販売店またはケンウッドサービ
スセンター、営業所が修理させてい
ただきます。ご依頼の際は保証書を
ご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の
混入など)による故障の場合は、保証
対象外になります。詳しくは保証書をご
覧ください。

●保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウ
ッドサービスセンター、営業所にご相
談ください。修理によって機能が
維持できる場合はお客様のご要望
により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製
造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機
能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、以下の料金が必要です。)

●**技術料**: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

●**部品代**: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサ
ービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

MEMO

FMチューナー部

| | |
|---------------------|-------------------------------------|
| 受信周波数範囲 | 76.0 MHz~90.0 MHz |
| チャンネルスペース | 100 kHz |
| 実用感度 (SN比: 50 dB) | 9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω) |
| S/N比: 50 dB感度 | 15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω) |
| 周波数特性 (± 1 dB) | 30 Hz~15 kHz |
| S/N比 (モノラル) | 70 dB |
| 選択度 | ≥ 80 dB (± 400 kHz) |
| ステレオセパレーション (1 kHz) | 35 dB |

AMチューナー部

| | |
|-----------------|--------------------------|
| 受信周波数範囲 | 522 kHz~1629 kHz |
| チャンネルスペース | 9 kHz |
| 感度 (SN比: 20 dB) | 28 dB μ (25 μ V) |

カセットデッキ部

| | |
|----------------------------------|--------------|
| テープスピード | 4.76 cm/秒 |
| ワウ&フラッター (WRMS) | 0.12 % |
| 周波数特性 (± 3.0 dB, メタルテープ使用時) | 30 Hz~14 kHz |
| ステレオセパレーション (1 kHz) | 40 dB |
| S/N比 (IHF T200) | 52 dB |

オーディオ部

| | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 最大出力 | 40 W \times 4 |
| 定格出力 (1 kHz, 10%THD, 4 Ω) | 26 W \times 4 |
| 音質調整 | バス (100 Hz) |
| トレブル (10 kHz) | ± 10 dB |

電源部

| | |
|-------------|------------------|
| 電源電圧 (⊖アース) | 14.4 V (11~16 V) |
| 最大消費電流 | 10 A |

寸法・質量 (重さ)

| | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 埋込寸法 (W \times H \times D) | 178 \times 50 \times 155 mm |
| 質量 | 1.2 kg |

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になることがあります。